

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会 議 名	令和3年度第2回寒川町介護保険運営協議会		
開 催 日 時	令和 4年 1月14日（金） 午後6時30分 ～ 7時30分		
開 催 場 所	寒川町役場 東分庁舎2階 第1会議室		
出席者名、 傍聴者数	<p>委 員：中間委員（会長）、木藤委員（副会長）、 木内委員、永田委員、西村委員、小林委員、森委員、 吉川委員、富岡委員、藤懸委員、寺本委員</p> <p>事務局：三橋健康福祉部長、長岡高齢介護課長、 佐野副主幹、秋庭副主幹、福岡主任主事、竹花主事 寒川町地域包括支援センター 佐藤センター長、 松本主任介護支援専門員</p> <p>傍聴者：なし</p>		
議 題	<p>1. 寒川町地域包括支援センターについて 報告(1) 令和3年度上半期運営報告 議事(1) 令和4年度運営方針について</p> <p>2. 介護保険運営状況について 報告(2) 令和3年度上半期介護保険事業報告 議事(2) 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）取 り組み状況中間評価中間評価 報告(3) 介護予防事業の実績 報告(4) 介護予防事業の公募スケジュール</p> <p>3. その他</p>		
決 定 事 項	議事については、すべて了承		
公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議 事 の 経 過	<p>&lt; 議事前段の進行 &gt;</p> <p>○配布資料確認</p> <p>○議事録署名委員について</p>		

小林委員、森委員であることを確認。

○会長挨拶

<これより議題>

1. 寒川町地域包括支援センターについて

報告 1

寒川町地域包括支援センター令和3年度上半期運営報告

佐藤センター長：【資料1に基づき説明】

木藤副会長：件数は増えているが、虐待の件数としては少ないと思う。理由はあるのか。

佐藤センター長：ネグレクトや身体的虐待といった明確な虐待というような件数はあがっていないが、困難事例が今年度半期で昨年度末の件数に迫る勢いとなっており、困難事例の中に明らかな虐待とは言えない事例が含まれていると感じている。

議事(1)

寒川町地域包括支援センター令和4年度運営方針について

佐野副主幹：【資料2に基づき説明】

寺本委員：文章の中に「QOL」という言葉がある。クオリティ・オブ・ライフという言葉は専門的に知っておかなければいけない言葉ではあるが、括弧書きで「生活の質」といった説明を入れたほうがいいと思うがいかがか。

佐野副主幹：委員からの御指摘のとおり、括弧書きで注釈をつけるようにする。

≪結果 了承≫

2. 介護保険運営状況について

報告(2)

令和3年度上半期介護保険事業報告

福岡主任主事：【資料3・4に基づき説明】

## 議事(2)

### 第8次寒川町高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画) 取り組み状況中間評価

福岡主任主事：【資料5に基づき説明】

藤懸委員：自己評価について、達成度によって2や3といった指標があるが、個々の事業によってはばらばらな実績率があると思う。自己評価はどのように算出したのか。

福岡主任主事：各事業の担当者にヒアリングのうえ、全体として評価を行っている。

藤懸委員：認知症サポーターステップアップ講座は100%を超えている。評価がもっと高くてもいいのではないか。評価の出し方がよく分からない。

長岡高齢介護課長：担当者とのヒアリングを加味したもので厳しい評価をしているところもある。半年間の数字でもあるため、曖昧な部分も固めて年度が終わった実績評価としてしっかりとした数字を出させていただきたい。

寺本委員：評価の基準が曖昧だと捉え方がそれぞれ違ってきてしまう。どういう意図で、基準で評価をしたのかきちんとした共通理解の中で評価をしていく必要がある。主観的な評価ではなく、定量的な評価で納得できる数字で。できない場合は文章でそのように表していくか。評価の基準、考え方はきちんと示されたい。

中間会長：今の質問、意見を踏まえて、客観性に近い評価をお願いする。ほかにあるか。

木内委員：認定を受けた人の約半分弱しかサービスを利用していないが、利用していない人の理由はどのようなものか。

福岡主任主事：まだお元気だが、周りからの薦めもあり今後を見据えて認定を受けに来る方がいる。あとは、住宅改修や福祉用具の購入にのみ利用される方がいる。

中間会長：ほかになれば、ただいまの中間評価について了承でよろしいか。

《結果 了承》

	<p><b>報告(3)・(4)</b>  <b>介護予防事業の実績及び介護予防事業の公募スケジュール</b>  福岡主任主事：【資料6・7に基づき説明】  寺本委員：介護予防教室事業について、どの事業もリピーターの参加が多い。これは感想だが、実際に参加し、本当に良かったと実感できる事業なので、いろいろな方に参加していただけるように事業をもっと広く浸透させていくような施策を出していく必要があると思っている。  中間会長：元気はっけん広場は当初から人気がある事業でもある。皆さんに続けていただけるようにしていただきたい。次年度の介護予防事業実施事業者選定については、運営協議会から委員を4名出すことになっているので、選ばれた方はよろしくお願ひしたい。</p> <p><b>3. その他</b>  森委員：町で介護保険料を徴収しているが、いろいろな介護予防事業等を実施する中で財源の金額はいくらになっているか。財源に基づいた見方というのが出てくればいいと思う。  長岡高齢介護課長：令和3年度で言うと、特別会計で総額34億8,763万2,000円という予算で収支している。これの多くは保険料をいただいた部分、国、県の交付金等、町一般会計という構成で運営している。  木藤副会長：次回のスケジュールはいかが。  長岡高齢介護課長：新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ、急を要する議題がなければ新年度を検討している。</p> <p>○副会長挨拶</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和3年度寒川町地域包括支援センター運営事業実績報告書  資料2 令和4年度寒川町地域包括支援センター運営方針（案）  資料3 令和3年度上半期 介護保険の状況  資料4 令和3年度上半期の給付状況  資料5 第8次寒川町高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）令和3年度取り組み状況中間評価  資料6 令和3年度上半期 介護予防事業の実績</p>

	資料7 令和4年度介護予防事業公募に係るスケジュール表
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	小林 きぬ子委員、森 一光委員 (令和4年3月11日確定)